

基本課題3 男女の性の理解と尊重(課題7)

課題7 男女の性の尊重に関する認識の啓発と教育

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	地域振興課所見	審議会の意見・評価	
19	男女の性の尊重に関する認識の啓発	男女の性の尊重に関するセミナーの実施	地域振興課 健康推進課	対象:市内県立高校生 時期:9月 内容:男女が互いの性を理解し、尊重する大切さを中心に、望まない妊娠や若年層の性感染症の広がりや危惧される状況を踏まえ、生命尊重と人権尊重の観点から、助産師を迎え、市内県立高校で正しい知識と情報を提供し、啓発を図る。 市内県立高校1校で実施 また、開催した講座について、コミュニティFMで周知する。 コミュニティFM一年1回	対象:県立県央工業高校の1,3年生、県央地域の養護教諭(392人) 時期:10月4日 内容:男女が互いの性を理解し、尊重する大切さを中心に、人権尊重の観点や自己肯定感を高めるため、講演会を開催した。 また、開催した講座について、コミュニティFMで10/18に周知した。	県央地域の高校の養護教諭にも聴講してもらい、とても良かったという意見を得ることができたので、他校にも広げていきたい。	A		・他の3高校においても実施できるよう、あらゆるルートを通じて啓発するように。	A
20	学校における性教育の充実	男女平等の視点に立った性教育の推進	学校教育課	男女平等の視点に立った性教育の推進について、学校訪問を通じて現状を把握し、必要に応じ指導・助言する。	学校訪問で全体協議での指導や市が主催する人権・同和教育研修会(8月開催)で指導や助言を行った。	今後も、学校訪問等で、具体的な学種の場合(道徳や学級活動、保健体育など)で男女平等についての視点を入れた指導を行う。	A	なし	視点が入っているかどうかの内容を確認すること。	A
21	家庭における性教育の推進	性教育の推進についての啓発	生涯学習課 (青少年育成センター)	小中学校の児童生徒を持つ保護者や高校生を対象に、思春期の性や性の商品化がもたらす諸問題についての啓発を、広報紙やセンターだよりを通じて行う。 年2回	センターの機関紙「センターだより」で小中学生を持つ保護者や高校生を対象に携帯サイトからの性非行について実態を知らせることにより、性教育推進の一環とした(平成20年2月)。 年1回	年2回の予定が、紙面の都合で1回しか掲載できなかった。 今後は、性の問題は対象年齢を幅広くすると内容が深まらないので、年代を絞った啓発の仕方などが課題である。	B	年2回掲載してはどうか	長期的視点で計画して欲しい。	B